

令和5年度 第1回 在宅医療・ケア専門部会「連絡調整委員会」報告

- 連絡調整委員会事務局より、6月21日に開催しました第1回委員会の実施報告をいたします。
- 第1回委員会では、昨年度連絡調整委員会で実施した高齢者の服薬支援に関するアンケート調査結果の共有、医療と介護の連携研修会の評価を実施し、在宅療養者の服薬支援について必要な取組み等について話し合いを行いました。
- 高齢者の服薬支援のアンケート調査結果については、研修会の中で皆様に報告させていただいておりますが、服薬支援の難しさとして「認知機能の低下がある場合の服薬支援」「飲み忘れた残薬への対処」が共通してあげられました。
- また、医療機関を除く地域の機関同士の連携上の課題として「服薬管理に関する課題の検討・共有」が共通してあげられました。
- 調査結果として、服薬問題への気づきやアセスメント力の向上、薬局等の医療職からのアセスメントの助言協力の必要性、各機関・職種の役割理解の重要性を事務局で考察し、第1回委員会で、市町村の地域ケア会議を活用しての継続した服薬支援の検討・学ぶ場の推進について、委員の方々に意見をいただきました。
- 委員の方々からは、「地域ケア会議に積極的に参加したいといってくれる薬局があるとありがたい」という意見があがった一方で、「服薬問題で薬局が支援介入している場合には、地域ケア会議に薬局へ参加依頼しやすいが、支援介入していない場合はどの薬局に参加を依頼したらよいか難しい」「居宅療養管理指導等がケアプランに入っているサービス担当者会議の方が、薬剤師に参加の声をかけやすい」等の意見があがりました。
- 薬局への相談しやすい体制づくりや連携強化について、今後も協議していけるとよいと思っております。
- また、委員の方々より、高齢者の服薬支援アンケート結果から「認知機能の低下がある場合の服薬支援の難しさが共通して上がっていたこと」、医療と介護の連携研修会后アンケートで認知症ケアの学習希望が聞かれたことから、『認知症及び認知機能低下者の服薬支援』について学べる機会を持てるとよいという意見が聞かれました。
- 今後の委員会の取組として、3つの取組について実施していくこと計画しています。
- ①高齢者の服薬支援に関するアンケート結果を、調査機関に還元するとともに、留萌保健所HPに掲載し、服薬支援の現状や課題等を地域で共有していきたいと思っております。
 - ②昨年より在宅医療受け入れ薬局一覧があると、薬局に相談・協力要請しやすいという意見があがっていましたので、北海道薬剤師会で作成の「在宅医療受け入れ薬局一覧」を留萌保健所HPにリンク掲載させていただきたいと思っております。
北海道薬剤師会には、掲載の了承をすでにいただいております。
留萌薬剤師会については、一覧の作成はないということでしたので、今後作成となった場合は掲載を依頼していきたいと思っております。
 - ③医療と介護の連携研修会については、今年度も連絡調整委員会で企画し、実施していきたいと思っております。開催時期や方法、内容については今後の委員会で検討いたします。

以上で、連絡調整委員会事務局からの報告を終わります。